

喫煙スペースの有効活用に関するご提案



2020年4月より改正健康増進法・東京都受動喫煙防止条例が全面施行され、既存喫煙所のリニューアルが余儀なくされている状況があります。リビングデザインセンターOZONEの幅広いネットワークを活かして、既存喫煙所の現地調査・ご要望のヒアリングから、コンサルティング・設計・施工までサポートします。

喫煙室の 選択肢・考え方

- 受動喫煙防止の措置をどうしたらよいか…??
 - 3密を避けるため閉鎖しているけれど今後どうしていこう…??
- 2人以上の人が利用する施設は原則屋内禁煙の為、受動喫煙防止の措置が必要です。

対応は大きく3つのパターンに分けられます。

<h3>① 喫煙所を別用途に転用</h3> <p>コロナ禍で新しい生活様式の一つとして「3密を避ける」という考えから、喫煙所が閉鎖されている現状もあり、死に部屋になっているのなら、別の用途に転用し、スペースを有効活用する!</p> <p>OZONEへ問合せ → ヒアリング & 現調 → 企画・見積 → 設計 → 施工</p>
<h3>② 設備改修して継続利用</h3> <p>喫煙スペースの利用者が多かったり、要望でも喫煙所として存続させる必要がある場合は、換気風量などのレベルアップを図り適法にする!</p> <p>OZONEへ問合せ → ヒアリング & 現調 → 企画・見積 → 分煙コンサルティング → 設計 → 施工</p>
<h3>③ 解体</h3> <p>換気風量のレベルアップなど適法にするには条件により困難。かつ、現在の配置上、解体すると隣接する空間が有効活用できる場合は、思い切って解体!</p> <p>OZONEへ問合せ → ヒアリング & 現調 → 解体業者のご紹介も可能 → ご希望により解体後の空間企画</p>

いろいろなケースがありますので、まずはお気軽にお声がけください。

OZONEが考える新しい活用方法

① 用途を転用する場合

仕事効率化

仕事をする上であったら助かる空間や、オフィスから溢れた機能を受け留める空間に転用する。

憩い・癒し

仕事効率UPの為、適度な息抜きや癒しはオフィスに不可欠になりました。入居者の満足度UPの一助にも。

コミュニケーション

執務から少し離れて喫煙所でリラックスした状態から生まれるスタッフ同士のコミュニケーションに。

② 喫煙所として継続利用する場合

入居者のご要望等を踏まえると、そのまま喫煙所として利用を続けたい。適法にしつつ、ソーシャルディスタンスをとりながら効率よくリフレッシュしてもらう空間へ改修する。

※喫煙所内の紙たばこ電子たばこの分煙に関するコンサルティングも可能です。

※ 喫煙所に関するノウハウを有する企業との協力関係もあります。継続利用する場合、機能やデザインに関してだけでなく、外部パートナーのコンサルも活用し、安心の喫煙空間を提供可能です。

ベースの機能

安全衛生の確保

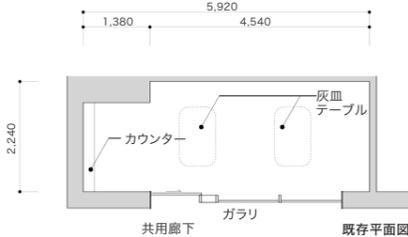
どのような用途の空間でも、コロナ禍やこれからの新しい生活様式の中で、抗菌や空気環境への配慮、健康状態の把握など、安全衛生環境の確保をする。

ご提案仕様の例



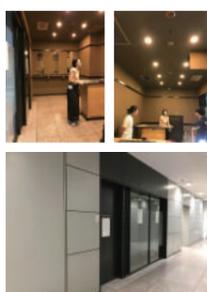
OZONE BUSINESS SUPPORT

事例



Before

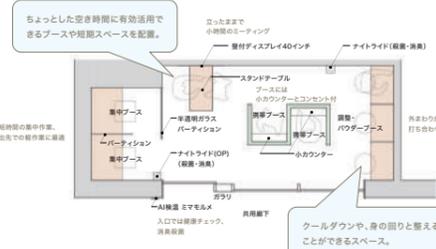
- 面積: 約13.3m²(内法)
 - 立地: 西新宿のビルの1階
 - ビルの規模: 地下5階地上52階
延床面積264,140.91m²
勤務者約12,000人
 - 特徴: オフィス、ホテル、ショップなどを擁する複合施設。
1階のEV脇、人通りの多い場所に喫煙所がある。
- ※実在するビル内の喫煙所で検討してみました



用途を転用する場合▶仕事効率化

あると便利な仕事の質を高める短期スペース!

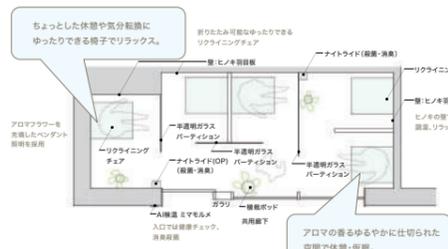
- 想定利用者: ビル利用者、来訪者
- 滞在時間想定: 5~30分くらい



用途を転用する場合▶憩い・癒し

仕事の疲れをとり気分転換、作業効率アップ!

- 想定利用者: ビル利用者
- 滞在時間想定: 15分くらい

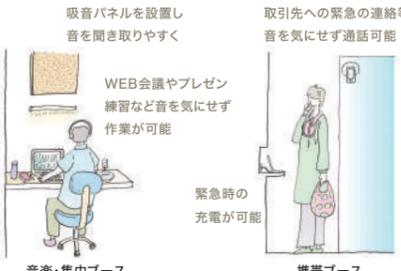
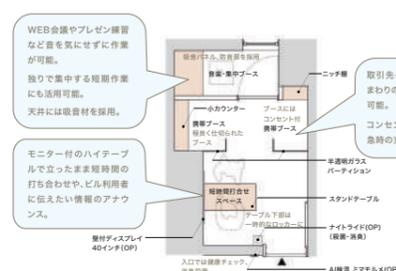


6.5m²でもできます

用途を転用する場合▶仕事効率化

短時間で集中利用、仕事効率化!

- 想定利用者: ビル利用者、来訪者
- 滞在時間想定: 5~30分くらい



6.5m²でもできます

用途を転用する場合▶コミュニケーション

ブレイクタイムに気軽に立ち寄れる場所へ転用!

- 想定利用者: ビル利用者
- 滞在時間想定: 5~15分くらい

